

このまま気候変動が進むと どうなるの!?



気候変動による異常現象は、発生回数や強さが増しており、自然や人間にさまざまな影響や損失を引き起こしています。このまま温暖化が進んでしまうと、多くの自然、社会が対応できなくなる可能性があり、これは決して他人事ではありません。

被害の拡大を少しでも防ぐために、私たちに何ができるのでしょうか。世界でどのような影響が現れているのか知っておきましょう。

世界で起きている気候変動の影響例

自然

1 生態系の構造変化

気候の変化に適応できない生物の減少・絶滅リスクが増加

2 種の生息域の移動

生物の分布範囲が移動、局地的な消滅(もともと住んでいた生物が見られなくなる、新たな生物が見られるようになる)

3 生物季節の変化

植物の開花や動物の行動時期が早まるなど、動植物の季節のライフサイクルが変化

人間

4 水不足・食糧生産への影響

降水、積雪、融雪時期の変動等により利用可能な水資源が不安定化
農作物、畜水産物などの生産への影響

5 健康・福祉への影響

熱中症や感染症のリスクが増加
干ばつ・洪水等の異常現象や海面上昇などによる難民増加

6 都市・居住地・インフラへの影響

街の排水能力を超えた浸水被害、暴風雨による被害、沿岸域における洪水の発生
自然災害によるインフラ・経済への被害

食品の値段が高くなるのも、気候変動の影響があるんだね!?

人間だけでなく、他の生き物たちにも影響が出ていたなんて...

気温の上昇で、桜の開花が早まったり、紅葉の時期が遅くなるなど、身近な植物にも影響が出ているんだ

気候変動への対応として 緩和と適応の2つが必要です



世界各地で異常気象や自然災害の発生など気候変動の影響が現れています。気候変動は私たちの食べ物や健康、日常生活にも影響を与え、今後はもっと拡大していくと予想されます。

こうした気候変動のリスクを小さくするために2つの対応策を知っておきましょう。

緩和

原因を
少なくする

地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを出る量を減らす(植林などによって吸収量を増やす)ことを、**緩和**と言います。気候変動を抑えるためには、最も必要かつ重要な対策です。

節電・省エネルギー

省エネ型設備や機器、環境にやさしい自動車の使用など

再生可能エネルギーの活用

太陽光発電の有効利用、エネルギー源の多様化など

エコバックを使うのも緩和になるんだね!

プラスチックごみの削減・リサイクル、食品ロス発生を減らすなど

森林整備・都市緑化

適切な間伐や植林による森林の整備、県産木材の利用など

香川県の緩和に向けた取組

香川県では、地域レベルでも地球温暖化対策に取り組んできています。温室効果ガスの排出量は減少傾向にあり、2021年度には基準年度である2013年度と比べて**27.5%減少**しました。

今後の目標

地域一体となった地球環境保全を基本の目標とし、2030年度には、**46%削減**(2013年度比)することを目指しています。

2050年までに、二酸化炭素の排出量を**実質ゼロ**に目標にしているんだよ



歩いたり自転車を使ったりの移動なら、私たちにできるね!

わたしたちに
いったい何が
できるの!?

自然災害・沿岸域

影響: 土砂、洪水など大規模災害の発生
方針: ハザードマップなどの防災対策、海岸整備の実施

健康

影響: 熱中症患者の増加、蚊媒感染症のリスク増加
方針: 熱中症対策の呼びかけ、蚊の発生状況などの調査

産業・経済活動

影響: 自然災害による停電などの被害
方針: 緊急事態が発生した時の復旧計画の作成

県民生活・都市生活

影響: 鉄道や物流、水などインフラやライフラインへの被害
方針: 水道施設の耐震化など各施設の強化

適応

緩和を実行しても避けることのできない気候変動や、すでに出ている影響に対して、被害を軽減し生活ができるように前もって備えることを**適応**と言います。

香川県の適応に向けた取組例

香川県での現状の影響や将来予測される影響、それに対する適応の方針の一部を、7つの分野に分けて紹介します。

農業・林業・水産業

影響: 気候上昇による農産物の品質低下
方針: 地球温暖化に対応できる県オリジナル品種の開発

水環境・水資源

影響: 水質汚濁による水質の悪化
方針: 水質を常に監視

自然生態系

影響: スギ林の衰退、侵略的外来種の侵入
方針: 森林整備、侵略的外来種の調査

自然災害・沿岸域

影響: 土砂、洪水など大規模災害の発生
方針: ハザードマップなどの防災対策、海岸整備の実施

健康

影響: 熱中症患者の増加、蚊媒感染症のリスク増加
方針: 熱中症対策の呼びかけ、蚊の発生状況などの調査

産業・経済活動

影響: 自然災害による停電などの被害
方針: 緊急事態が発生した時の復旧計画の作成

県民生活・都市生活

影響: 鉄道や物流、水などインフラやライフラインへの被害
方針: 水道施設の耐震化など各施設の強化

健康・自然災害・農業の適応についてくわしく見てみよう!

身近な影響と適応策を知ろう!

健康

気温の上昇で、全国的に熱中症による被害が広がっており、香川県でも、熱中症で救急搬送される人が増加しています。今後さらに暑さが厳しくなり熱中症になるリスクが高まります。

適応策

熱中症を予防するには、「**気温・湿度・日差し**」の3つをもとにした「暑さ指数」に注意するのがポイントです。

気温が高いと暑く感じる

湿度が高いと暑く感じる

日差しが強いと暑く感じる

熱中症についてよりくわしく知ろう!

厚生労働省 環境省 総務省消防庁

自然災害

香川県でも台風や豪雨による浸水被害や土砂災害が発生しています。

平成30年西日本豪雨による土砂災害
画像提供:香川県河川砂防課

適応策

天気予報や防災アプリの活用
ハザードマップの確認や防災グッズの準備をして災害に備える

かがわ防災Webポータルサイトで災害の情報収集しよう

農業

高温や豪雨は農作物の生産に大きな影響を与えています。

左/高温により品質の低下した米粒 右/正常な米粒
画像提供:NTTデータCCS 岩澤紀生

適応策

香川県には、気候変動による暑さにも負けずにすくすくと育つように品種開発された「おいでまい(米)」と同じく気候変動に対応できる「さぬきひめ(いちご)」があります。

画像提供:香川県農業試験場